

よきかな若人

～飯縄山こそ われらが希望～

令和6年度3学期終業式 学校長の話

3 学期終業式 「リスペクト」誰もが幸せを感じることができる TEAM 飯綱

2学期の終わりに皆さんに学校生活アンケートに答えてもらいました。「学校は、楽しく安心できる場所になっている」と答えた人は91%いました。皆さんのコメントには、

- ・友だちとたくさん話してもっと仲良くなれた (2)
- ・いろんなことに挑戦できたし仲間と協力して楽しく過ごせた (4)
- ・どんな話でも聞いてくれる友だちがいる (4)
- ・話しかけてくれる友だちがいる (3)
- ・困っている時に友達や先生が助けてくれるので安心して過ごせた (18)
- ・自分のことをわかってくれる友だちがいる (2)
- ・友だち同士で意見を尊重し合える
- ・クラスが楽しくてこのクラスでよかったと気づけた
- ・学校に行くと友だちがおはようと言ってくれる

等がありました。皆さんが、学校で楽しく安心して過ごすためには、学校の仲間との関わりが重要なポイントだということわかります。

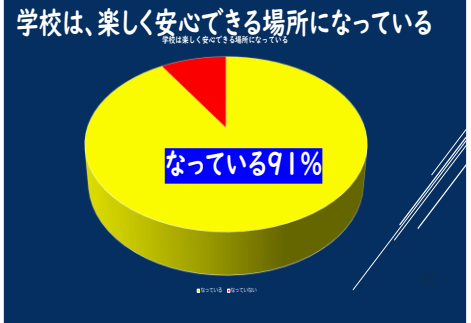
アンケートの中には、この飯綱中学校の仲間との関わりを教えてくれるコメントがありました。

皆さんに紹介したいと思います。

みんなが自分の得意なことで力を発揮したり、自分の意見を発言したりしてみんな輝いていたと思う。NEW部や校祭では、3年生が、1, 2年生をまとめて盛り上げていて、そこに全校のみんながついてきてくれて本当に楽しかった。他学年とコミュニケーションを取り全校の団結力も上げることができた。困ったときや不安な時みんなが協力して助け合って最高の2学期だったと思う。3学期も全校みんなで仲良く楽しく卒業まで「TEAM飯綱」で生活していきたい 42

そこで、TEAM 飯綱の目標「誰もが幸せを感じることができる」を達成するためには、対話を通してお互いの違いを認め合うこと(リスペクト)が必要です。全員が自分の個性をどう生かすか共に考え、実行する中で、ひとり一人の良さが生かされたり、苦手なことをカバーし合ったりすることで、お互いのモチベーションが高まり、相乗効果により予想以上の結果を生み出すことにつながるのです。

私は、今年、飯綱中学校で行われた、あいさつリレーやNEW部などの活動は、お互いの違いを認め合う(リスペクト)の気持ちがベースになって生み出されたと感じました。飯綱中学校で培った「リスペクトの気持ち」を大切に、これからも仲間と高め合っていて欲しいと願っています。



学校で楽しく安心して過ごすということは、ただ仲間と仲よくするだけではなく、目標に向けて、お互いが自分らしさを発揮できたり、対等に話し合ったりすることが大切だと皆さんから教えられました。

チームとは、メンバー全員が同じ目的・目標をもつ集団です。チームには、いろいろな人がいます。だから、多くの人が幸せを感じていても、幸せを感じられない人もいます。

「TEAM飯綱」の良さ

お互いの違いを認め合う



リスペクトの気持ち

令和6年度学校自己評価 アンケート結果の分析と今後の支援のあり方 (生徒 後期 アンケート)

質問	質問内容	43.3%	47.8%	7.3%	1.7%	⇒	91.0%
質問1	学校は楽しく、安心できる場所になっている。						
質問2	授業では、友と関わったり、話し合ったりすることを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	59.0%	37.1%	2.2%	1.7%	⇒	96.1%
質問3	家庭学習では、自分の課題やめあめをもち、解決方法を工夫しながら、計画的に取り組もうとした。	33.1%	47.8%	18.5%	0.6%	⇒	80.9%
質問4	委員会や学級会などの時間に、自分の考えを発信したり、発言を聞いて自分の考えを深めようとしている。	37.6%	46.1%	13.5%	2.8%	⇒	83.7%
質問5	総合的な学習の時間や学習発表会などは地域を見直す学習になった。	52.8%	41.6%	3.4%	2.2%	⇒	94.4%
質問6	地域での体験活動を通して、自分なりの考えをもつことができた。	44.9%	48.9%	3.9%	2.2%	⇒	93.8%
質問7	私は、学校で好きなこと(興味関心があること)ができています。	46.6%	37.1%	14.6%	1.7%	⇒	83.7%
		はい	いいえ				
質問8	学校に、悩み事を相談できる先生がいる。	75.3%	24.7%			⇒	75.3%

〈保護者アンケート〉

設問	質問内容	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	⇒	よくあてはまる あてはまる
設問2	お子さんは、安心して登校している。	37.2%	56.2%	4.4%	2.2%	⇒	93.4%
設問3	本年度の重点1[モチベーション:学び方を自分で選び、自分らしく学べる学校づくり]について、学校の取り組み(個別最適な学びと協働的な学びの充実、自由進度学習などの学び方を自分で選ぶ授業形態の導入、探究的な学びの推進、等)は、成果が上がっている。	8.0%	63.5%	27.0%	1.5%	⇒	71.5%
設問4	本年度の重点2[リスペクト:互いの違いを尊重し合い、安心して学べる学校づくり]について、学校の取り組み(道徳教育や人権教育の充実、教育相談等個別相談の場の拡充、学年・学級の枠を超えた生徒会活動やNew部等生徒中心の活動の支援、等)は、成果が上がっている。	13.9%	75.9%	8.8%	1.5%	⇒	89.8%
設問5	本年度の重点3[コミュニティ:地域とともに生徒の学びをサポートする学校づくり]について、学校の取り組み(地域を学ぶ中で自分の生き方を見つめたり、地域に貢献する体験活動を軸にした総合的な学習の時間や生徒会活動及びキャリア教育の推進、等)は、成果が上がっている。	13.9%	73.0%	12.4%	0.7%	⇒	86.9%
設問6	お子さんは、将来の夢や希望をもって学んでいる。	12.4%	54.7%	29.9%	2.9%	⇒	67.2%
設問7	お子さんは、服装、持ち物、行動など、学校全般において、きまりを守って生活している。	38.0%	56.2%	5.1%	0.7%	⇒	94.2%
設問8	学校は、子どもたちが豊かな人間関係を築けるよう、教育活動を工夫している。	14.6%	73.7%	10.9%	0.7%	⇒	88.3%
設問9	学校は、SNS等の利用について、十分な啓発活動を行っている。	10.2%	67.2%	20.4%	2.2%	⇒	77.4%
設問10	学校は、生徒一人一人に寄り添い、生徒の成長のために十分な支援を行っている。	15.3%	69.3%	14.6%	0.7%	⇒	84.7%
設問11	学校、学年、学級からの便りを通して、学校の様子が分かりやすく伝わってくる。	19.0%	65.7%	13.9%	1.5%	⇒	84.7%

保護者アンケート設問1の「アンケート内容に関するご意見・ご質問」及び設問12の「お子様は体罰を受けたか(受けているか)」については、いずれも「あり」の回答者が0人でしたので、表から除かせて頂きました。

今後の支援について

学校では「生徒から学ぶ(生徒の声に耳を傾ける)」「生徒とともに考える」「生徒の学ぶ力を信じ、任せ、支援する」ことを大切に、生徒一人ひとりに寄り添いながら対応することを心がけて参りました。このことがほとんどのアンケート項目に対して肯定的な回答の割合の高いことにも繋がっているのではないかと思います。しかし、いずれの質問・設問においても肯定的な回答が100%というわけではありません。それぞれの質問・設問で示された場面や事象等について、不安や不満を抱えている生徒がいることを真摯に受け止め、不安や不満を解消するための支援のあり方を考えていくべきであると考えております。

例えば不安を解消するために、日常的に生徒の声に耳を傾けたり、生徒が気軽に、あるいは希望や期待を持って相談できたりするような機会(本年度週1回程度実施している教育相談、GoogleFormsによる「つづやきタイム」、等)や相談相手(SC、SSW、「いいづな保健室」さんによる相談室、等)を一層充実させたり、学校での学びの場や学び方が「個別最適な学び」になるような工夫(CRの活用など)をしつたりしたいと考えます。

さらに、キャリア教育における「自己理解を図る」「進路情報を得る」「進路計画を立てる」「進路選択をする」「勤労観や勉学観を育む」などの学習について、生徒が客観的に自分の理解の深まりを実感できるように進めたり、キャリアカウンセリングをさらに綿密に計画・実施したりすることで、生徒が将来の夢や希望を持って学べる学校を目指していきたいと考えます。

また不満を解消するために、生徒の学ぶ力・選択判断する力を信じて、委ね任せの機会をより増やしたり、生徒が話し合いを通して抱いた思いや願いを、集団としてのめあてやゴールとして全員で共有できるようにしたり、学校の仕組みやきまりについても、生徒とともに考える機会をさらに増やし、生徒の意見や願いをこれまで以上に尊重しつたりしていきたいと考えます。

次年度より、NEW部のような、探究テーマや探究方法を、自分で選び、自分らしく学べる「探究的な学習」の機会を増やし、推進していく予定です。このように、学習場面においても、生徒一人ひとりが「自分が学びたいことを、自分の探求の仕方学ぶ」ことの支援をより充実させていきます。

社会では、対話を通して価値観や考えの相違を乗り越え、誰もが納得できる合意を形成できるようにしていく力が求められています。しかし、対話を通じた合意形成は誰もがはじめからできるわけではなく、その力をつけることこそが、集団で学び合うことができる学校教育の役割と考えます。これからも、子どもたちに委ねること、任せることを増やし、生徒が当事者として自分たちで考え、議論し、対立を超えた合意を形成していく実際の経験することを重点として取り組んでいきたいと考えます。

学校自己評価アンケートの分析

本年度飯綱中学校では、

①モチベーション:

「学び方を自分で選び、自分らしく学べる学校づくり」

②リスペクト:

「互いの違いを尊重し合い、安心して学べる学校づくり」

③コミュニティ:

「地域とともに生徒の学びをサポートする学校づくり」

の3つを重点の柱に据え、その実現のために「生徒から学ぶ(生徒の声に耳を傾ける)」「生徒とともに考える」「生徒の学ぶ力を信じ、任せ、支援する」を大切に考え、取り組んで参りました。

今回の生徒アンケートの最後で「2学期の中でよかったこと、仲間に感謝していること、学校に改善してほしいこと」という質問をしたところ、

◇ 校祭は全校でつくり上げられたものだったと思う。すべての企画でひとり一人が活躍できていた行事になった。

◇ 校祭ではみんなで盛り上がり協力できたりしてよかった。校祭でクラスメイトと仲を深められた。

◇ 困っているときに友達や先生が助けてくれるので安心して過ごせた。

◇ New部で学年関係なく関わり校祭の1ヶ月前から練習したり放課後練習したりできたのがとてもうれしかった。その中でも意見が違ったりした時があつて大変な時もありました。だけどみんなで話し合ったりして解決することができました。New部を通してコミュニケーションが大切だと言ったことがわかりました。

◇ すごいみんなが自分の得意なことや意見を発揮したり発言してみんな輝いたりしていたと思う。他学年ともコミュニケーションをとり全校の団結力も上げることができた。困ったときや不安なときもみんなが協力して助け合つて最高な2学期だったと思う。

◇ 中間テストの反省を生かして期末テストで勉強量を増やして取り組めたのが良かった。

◇ 友達や、自分の考えや相談を真摯に受け止めてくれて嬉しかったです。部活も終わって、勉強への切り替えがうまくいかなかった時に、周りが勉強する雰囲気を作ってくれて自分も勉強する事が出来ました。

◇ 朝学校に来て自主学習のできるスペースがあることがいい。

◇ 地域貢献で現状を確認して改善に向けて行動することができた。

◇ いきいきサロンで、地域の人と交流をして話したり出来たので良かったです。地域の人の仲が深まった感じがしました。

といった回答を、たくさん生徒から頂きました。これらのコメントから、『自分たちで考えて活動する機会を通して、モチベーションを高め、より強く達成感や連帯感を味わうことができた』『仲間とのコミュニケーションを密にする中で、他者への感謝の気持ちやリスペクトをする思いが湧き上がってきて、集団としての高まりを感じることができた』『地域の方々と交流や地域貢献活動を通して、地域の方との絆を深めたり、地域に寄与できたりしていることに喜びを感じることができた』といった様子がうかがえ、これが生徒アンケートの質問1~7、保護者アンケートの設問2~5における、肯定的な回答の割合の高さに表れているのではないかと考えます。

保護者アンケートの設問6「お子さんは、将来の夢や希望を持って学んでいる」について、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と感じている保護者の方が3割強いました。本校では、3年間を見通した系統的なキャリア教育に取り組んでいますが、まだ「個別最適な学び」になり得ていないところがあるのかと思います。キャリアカウンセリング(進路相談)の回数を増やすなど、更なる改善が必要であると考えます。